

【専門分野】

科目名	在宅療養を支える看護Ⅱ (健康維持の看護)	講師名	非常勤講師 (15) 専任教員 (15)	学 年	2	履 修 期	第2学期
単 位	1単位						
時間数	30時間						
講師実務経験	専任教員：看護師としての臨床経験あり。						
授業概要	在宅看護の展開について理解を深め、在宅で療養する対象をアセスメントする能力を養い、在宅で療養する障害を持つ対象と家族に対して、機能を回復、維持するための援助方法を学ぶ。						
授業科目目標	1. 在宅看護の展開について理解でき、在宅で療養する対象をアセスメントすることができる。 2. 在宅で療養する障害を持つ対象と家族に対して機能を回復、維持する為の援助方法が理解できる。						
授業計画	<p>1回：在宅看護の特徴</p> <p>1) 訪問看護の役割</p> <p>2) 健康維持・QOLを考えた看護</p> <p>3) 療養生活の自立支援（予測と予防）</p> <p>2回：看護の継続性</p> <p>1) 施設と在宅看護を結ぶ看護</p> <p>3回：在宅看護における療養者と家族の権利保障</p> <p>4～5回：寝たきり療養者の在宅看護</p> <p>1) 状態アセスメント</p> <p>2) 日常生活のアセスメント</p> <p>3) 生活リズムの調整・ADLの拡大</p> <p>4) 合併症予防</p> <p>5) ニードに応じた社会資源の活用</p> <p>6回：寝たきり療養者の在宅看護</p> <p>1) 神経難病・医療依存度の高い療養者への支援</p> <p>7～8回：認知症のある在宅療養者の在宅看護</p> <p>1) 認知症高齢者の理解</p> <p>2) 日常生活上の援助</p> <p>3) 問題行動と精神症状への対応</p> <p>4) 起こりやすい事故の予防と対策</p> <p>5) 家族介護者への支援</p> <p>9～11回：老々介護療養者の看護</p> <p>1) 老々介護の現状</p> <p>2) レスパイトケア</p> <p>3) 事例検討（関連図の作成）</p> <p>12～15回：小児療養者の看護</p> <p>1) 成長・発達の特徴を通じた対象の把握</p> <p>2) 家族アセスメント</p> <p>3) 小児における訪問看護の支援</p> <p>15回：終了試験</p>						講義
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践, 医学書院.						
参考書	1. 角田直枝：よくわかる在宅看護 改訂第2版, 学研.						
学生へのメッセージ	事例を通して、在宅看護過程を展開し、健康を維持するための援助方法、管理方法を学んで下さい。 【関連科目】生活を支える看護Ⅰ・Ⅱ、在宅療養を支える看護Ⅰ、成人看護援助論Ⅲ、老年看護学概論、小児看護学概論、						